

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5 芸術文化の振興				
	施策	2 先人の顕彰				
目的	宮沢賢治に関する研究・創作等の資料を収集、保存、公開するとともに、調査研究を行い、広く学術及び文化の発展に寄与する。					
対象	市民、観光客及び全国の賢治研究者・愛好者等					
意図	宮沢賢治に関する情報の収集や提供により、賢治作品や研究成果にふれ、賢治の人間像と作品に対する理解を深めることができ、研究者・愛好者の交流を深めることができる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助 ・宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供 ・定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催 ・研修会・講座等の開催 ・会員間の情報交流、研究活動への協力 ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考 企画展開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託） ・賢治研究の先駆者たち⑥ 黄瀛展 4月15日～10月13日 ・宮沢賢治記念館の特別展と連携した企画展 イーハトーブの石 10月20日～平成29年3月31日						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○ 補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 企画展開催回数	回		計画	3	4	
			実績	4	2	
② 賢治セミナー開催回数	回		計画	4	3	
			実績	5	5	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 入館者数	人		目標	40,000	40,000	
			実績	31,959	28,329	
② セミナー出席者数	人		目標	500	400	
			実績	803	1,133	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
入館者数は、宮沢賢治生誕120年記念事業の実施、ホールでの各団体等によるコンサート等の開催により増加を見込んだが、修学旅行生の減少等により減少した。 セミナー出席者数は、国際研究大会（実行委員会方式）を開催するため夏季セミナーを開催しないこととし出席者数は減少すると見込んだが、地方セミナーの出席者が多かったため、目標値を大きく上回った。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
イーハトーブ館は、宮沢賢治に関する情報拠点として賢治関係図書・資料・論文等の情報が収集・保存・整理され、この情報を提供をすることにより情報拠点として重要な役割を果たしている。 また、企画展やセミナー、研究会等の開催により、賢治を学ぶ場を提供し、市民を始め全国から多くの方が来館され、賢治を学びながら、交流が深められている。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業

単位：千円

		27年度決算額(A)	28年度決算額(B)	29年度現計予算額	決算額前年比(B-A)
事業費		11,338	11,288		△ 50
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	11,338	11,288		△ 50

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興に努める。

事業開始の背景・経緯

学会は、「賢治宇宙・賢治精神の探求の最先端となる場」「単に研究者ばかりでなく、賢治の人と作品に関心のあるすべての人が自由に平等に交流でき、利用できる開かれた広場」にしたいという願いを込めて、平成2年に「ふるさと創生事業」として設立した。

事業概要

宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助
 ・宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供
 ・定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催
 ・研修会・講座等の開催
 ・会員間の情報交流、研究活動への協力
 ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考
 企画展開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託）
 ・賢治研究の先駆者たち⑥ 黄瀛展 4月15日～10月13日
 ・宮沢賢治記念館の特別展と連携した企画展 イーハトーブの石 10月20日～平成29年3月31日

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

研究者ばかりでなく、賢治の人と作品に関心のあるすべての人が平等に交流でき、利用できる開かれた広場、情報センターになるよう、創意・工夫した事業展開による学会の活動の活性化と市民へのより一層の情報発信が必要である。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 宮沢賢治イーハトーブ館 担当係長 藤井 廣志 内線 31-2116

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

学会運営経費（H28学会決算額）

総会費 総会の開催等	1, 161
理事会費 会議開催費	1, 424
委員会費 会議開催費	568
事務費	869
事務局人件費	3, 580
研究費 研究活動費等	0
普及費 企画展、セミナー開催費等	4, 120
機関誌発行費 機関誌・会報印刷、通信費等	4, 250
ホームページ運営費	53
資料費 図書資料購入費	24
賞選考費	727
国際研究大会負担金	300
合計	17, 076

- ①宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助金 10, 188千円
 補助金算定内訳
 学会運営経費
 （企画展開催委託費、人件費、国際研究大会負担金を除く。）× 1/2 + 事務局人件費
 （18,136-1,100-3,640-300）× 1/2 + 3,640千円=10, 188千円
- ②企画展開催委託料 1, 100千円
 宮沢賢治生誕120年記念事業として「賢治研究の先駆者たち⑥ 黄瀛展」、平成27年から開催している宮沢賢治記念館の特別展と連携した企画展「イーハトーブの石」を宮沢賢治学会イーハトーブセンターに委託し、宮沢賢治イーハトーブ館で開催した。